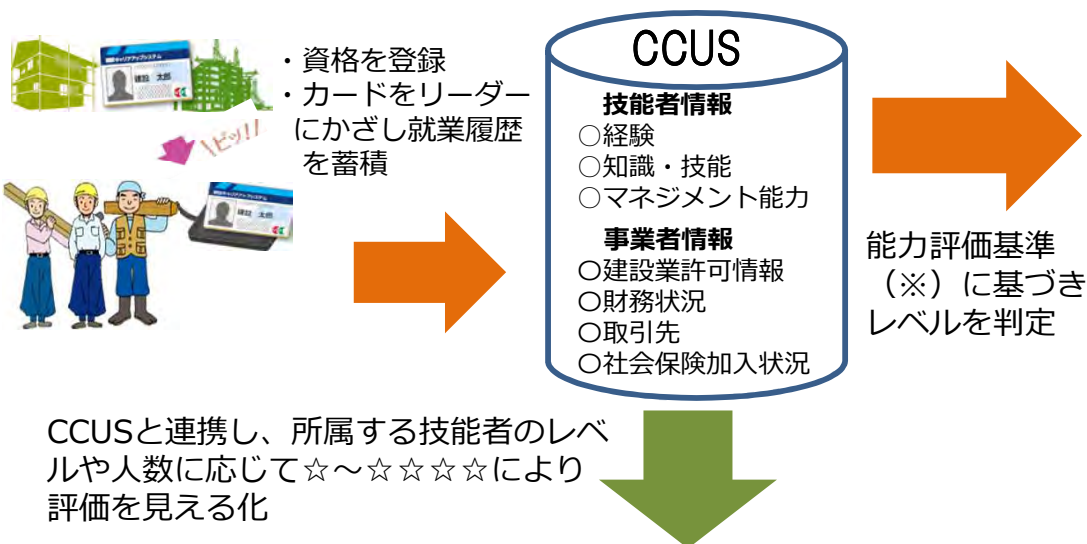


○「建設キャリアアップシステム (CCUS)」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み

○若い世代にキャリアパスと処遇の見通しを示し、技能と経験に応じ給与を引き上げ、将来にわたって建設業の担い手を確保し、ひいては、建設産業全体の価格交渉力を向上させるもの

## 業界横断的な経験・技能の蓄積

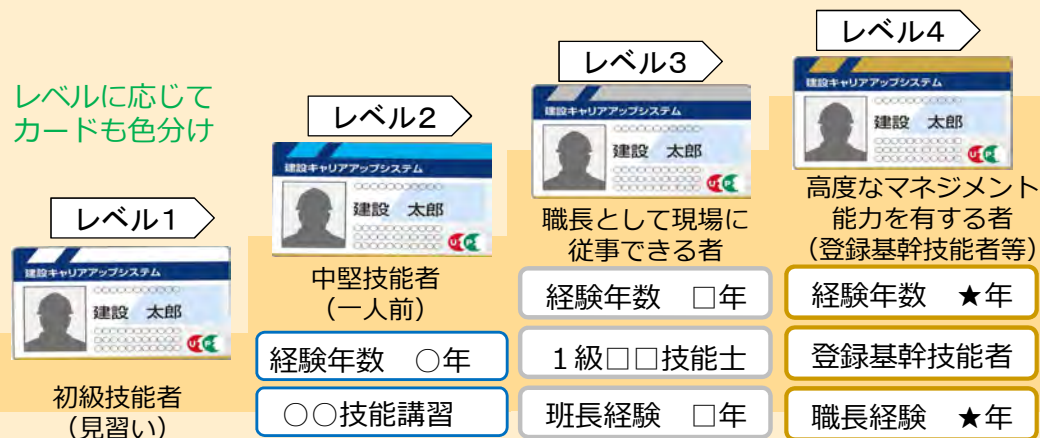


CCUSと連携し、所属する技能者のレベルや人数に応じて☆☆☆☆により評価を見える化

## 専門工事企業の見える化

項目区分	項目	申請内容 (イメージ)
基礎情報 ☆☆☆☆	建設業許可の有無	建設業法上の建設業許可 有
	建設業の許可年数	〇〇年
	財務状況等	〇〇指標 取引銀行；△△銀行〇〇支店 取引先；●●建設、▼▼工務店
施工能力 ☆☆☆☆	社員数	〇〇名 (直用)
	専門工事業団体加入	専門工事業団体に加入
コンプライアンス ☆☆☆☆	建設業法の法令遵守、労働基準関係法令違反の状況	建設業法による監督処分、労働基準関係法令違反 無
	社会保険加入状況	雇用保険、健康保険、年金保険 加入

## 建設技能者の能力評価

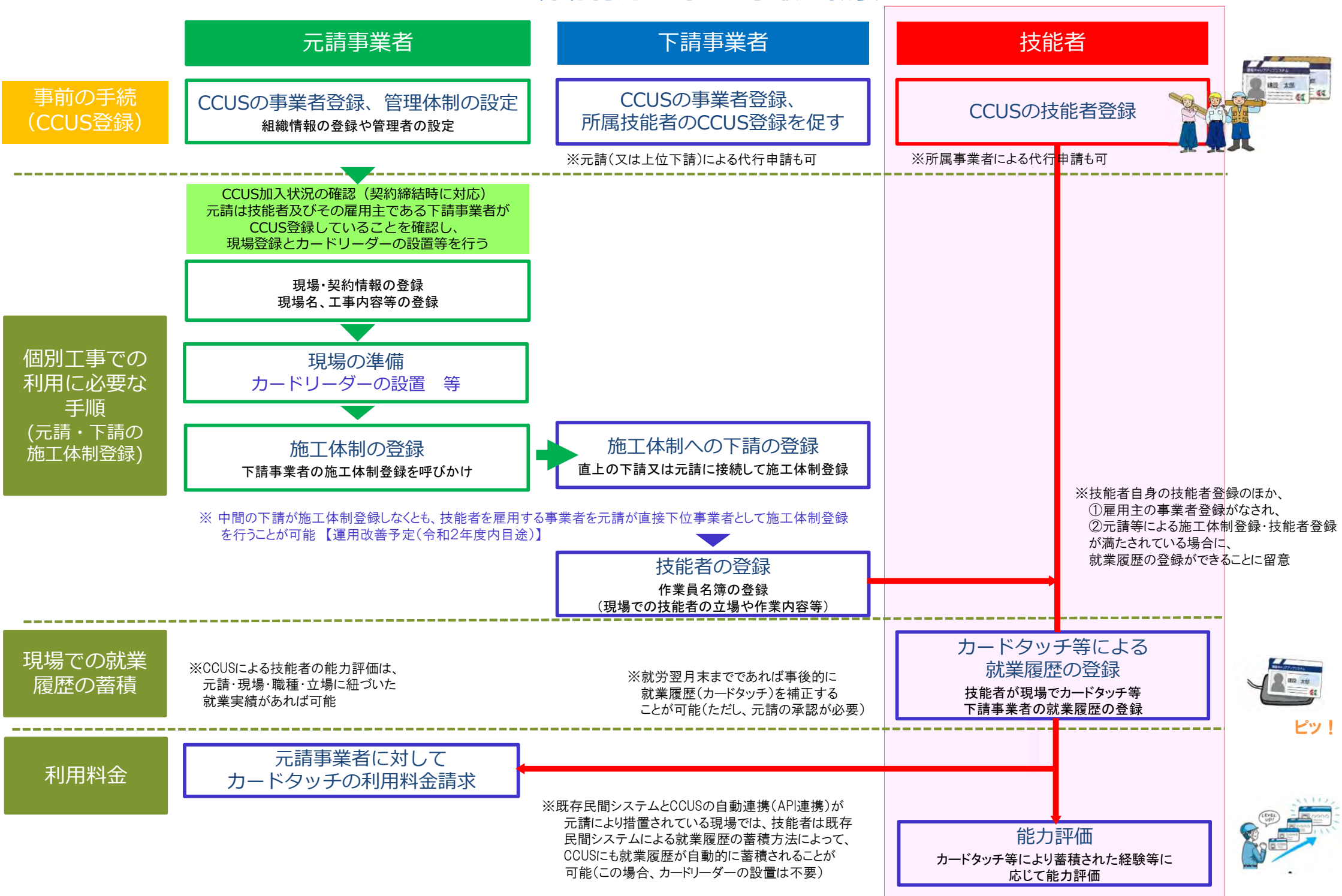


※専門工事業団体等が職種毎の能力評価基準の策定・能力評価の実施

(例) 各職種における賃金目安

呼称	団体	賃金目安 (年収) の設定額		
		レベル2	レベル3	レベル4
型枠技能者	(一社)日本型枠工事業協会	550万円	640~590万円	820~620万円
機械土工技能者	(一社)日本機械土工協会	400万円	600万円	700万円
トンネル技能者	(一社)日本トンネル専門工事業協会	750~500万円	1100~850万円	1200万円
基礎ぐい工事技能者	(一社)全国基礎工事業団体連合会	462~344万円	673~576万円	723~620万円

# CCUS現場利用に向けた手順の概要



- 現場に設置する機器類（パソコンやカードリーダー等）やインターネット環境は**元請事業者が準備**
  - 就業履歴を蓄積するための**就業履歴登録アプリ（建レコ）を事前にインストールする** ※アプリ「建レコ」は、ホームページから無料でダウンロード可能
- ※インターネット環境が用意できない現場では、就業履歴を事後に直接システムへ登録することも可能（ただし、事後の登録の際に元請事業者の承認が必要）
- ※このほか、既存民間システムとCCUSの連携により、既存民間システムのカードリーダー等で蓄積される就業履歴情報をCCUSに自動蓄積することも可能（この場合は既存民間システムのカードリーダー等の機器をそのまま使用できるため、新たな設備投資は不要）

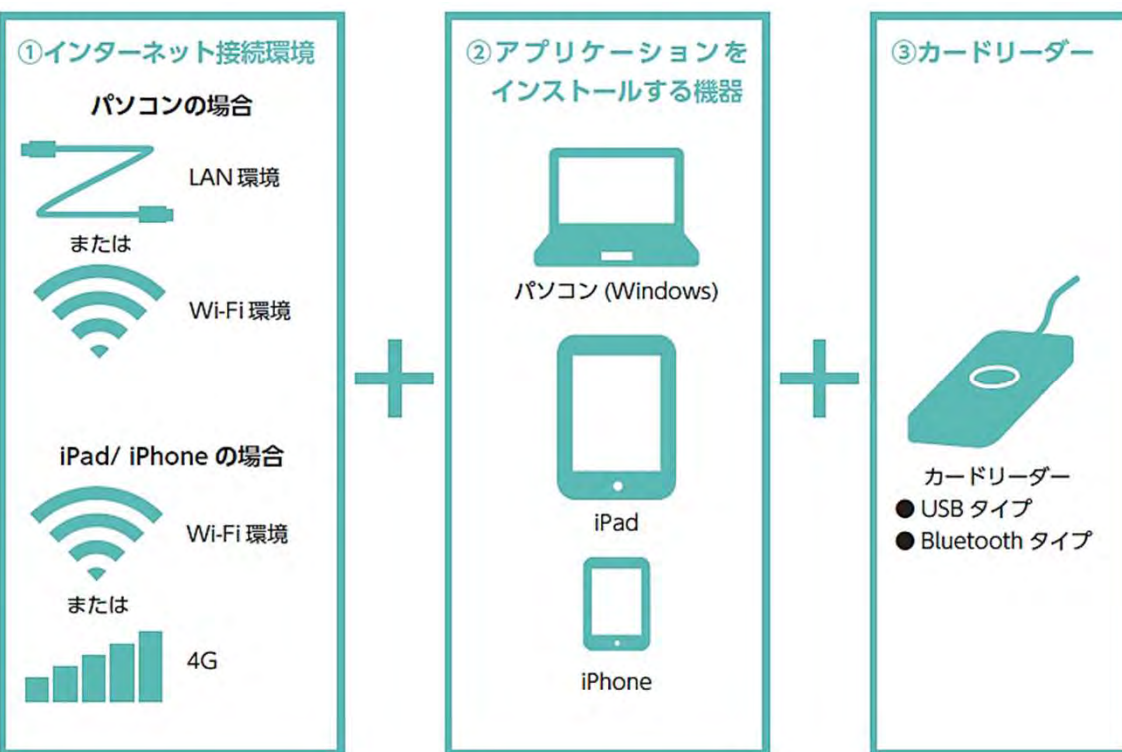
## 現場設置イメージ



現場内での周知啓蒙用ポスターはホームページの『現場運用マニュアル』のページからダウンロード

## 【用意する機器・環境について】

技能者の就業履歴を蓄積するためには、以下の①②③の機器・環境と、就業履歴登録アプリ「建レコ」が必要



Windowsパソコンとカードリーダーを設置した例



iPadとカードリーダーをBluetooth接続し、設置した



iPhoneとカードリーダーをBluetooth接続し、設置した例